



園長だより

NO.6 2024年9月 園長 押部 直也

今回の園長だよりは、来月に行う運動会（3歳児～5歳児クラス対象）への思いが中心となります。今年度より運動会の内容を大きく変更し、「保護者の方々と一緒に楽しむ」内容とさせていただきました。直前でのご報告となってしまう、大変申し訳ございません。変更させていただいた経緯をこの園長だよりでお伝えできればと思っております。

少しずつ変化している社会。そして今の子ども達の生活に寄り添った運動会でありたい…。その思いを感じていただき、最後までご一読いただけたら幸いです。0歳児～2歳児クラスの保護者の皆様におかれましても、幼児クラスになった時のイメージを膨らませていただけたらと思います。

*運動会の在り方を考えて…

運動会については、数年前から内容をずっと検討していた行事でした。…ただ私の性格上、他の行事も毎年検討している気がするので、もはや運動会に限った話ではないかもしれません。運動会の内容を検討していた大きな理由としては、「暑さ問題」と「競技に対する子ども達の意識」の2つです。

暑さ問題については、昨年度の園長だより2でもお伝えさせていただきましたが、近年は運動会の活動が始まる9月～10月も想像をはるかに超えるほどまだ暑い…。種目を減らす、時期をずらすなど、毎年少しずつ変更はしてきたものの、持続可能かつ根本的な変更の必要性を感じておりました。小学校のように春先に実施する？いつそのこと12月くらいまでずらす？など、内容を変えずに時期を大きくずらすという案も検討しておりました。

※暑さ問題の詳細につきましては、下記をご覧ください。アプリ上でこの手紙を開くとリンク先にアクセスできません…。ホームページの「園からのお手紙」より「園長だより2」をご参照下さい！ <http://www.inzai.hikari-kamagaya.ed.jp/swfu/d/auto-qyai4b.pdf>

もうひとつ、競技に対する子ども達の意識について。今回の変更における最も大きな要因でした。

近年の教育の考え方は「競争社会に対応する教育からの脱却」かなと個人的には思います。補足するならば、「大人になった時の競争社会に対応するという目的で他の人と比べて競い合う教育ではなく、個々を尊重して認め合える教育」だと思えます。

※小中学校の先生方はどうでしょうか。ご意見を伺いたいです。

開園から7年が過ぎました。毎年こども園の子ども達の姿を見ていると、本当に個々を尊重して認め合える教育が大事だなと感じることが多いです。だからこそ運動会の内容は検討していく必要があると思えました。勝ち負けが注目されやすい競技、個人の良し悪しに注目が向き

やすい競技になってはいないだろうか…。競技によっては苦手意識を持ってしまう子はいないだろうか…。そんなことが私の頭の中では懸念材料でした。

職員で運動会を考えるにあたって、競争や勝ち負けを最重要視する人はいないですが、そもそも運動会で一番に大切にすべき思い（保育のねらい）は何だろう。ここをベースに考えていく必要がありました。

*運動会で一番に大切にすべき思い（保育のねらい）とは？

私達ひかりこども園では、『生活単元計画』という年間計画（カリキュラム）を元に、日々の生活の計画（予定）を立てております。この単元について説明するとさらに長文になるため割愛しますが、簡単に言うと0歳～幼児期の終わりまで、子ども達の発達段階と日々の様子を踏まえて、生活（活動を含め）が流れるように連動して成長していけるように組み立てているものです。…もっと簡単に言うと保育計画の柱ですね。運動会の計画もこの流れの一部として連動しております。

「運動会の時期を大きくずらす」、「内容を変更する」ということはこの年間計画も連動性を加味して変更していく必要があります。ここ数年、議論を重ねていく中で一番に大切にすべき思いは、『子ども達一人一人が運動することを心から楽しい！と思える運動会』にすることでした。この思いを軸に運動会の在り方を考えた結果、時期をずらすのではなく、日々の運動遊びの経験から「保護者の方々と一緒に心から運動を楽しむ運動会」にしよう！という結論へと繋がりました。

※『生活単元計画』等のカリキュラムの考え方について、詳細をお聞きになられたい方や興味のある方がいらっしゃいましたら、事務局にお声掛け下さい！将来的にホームページ等で公開できたらと思っております。

*私達職員の思い ～一人一人が運動を心から楽しむ！をベースに～

リレーやかけっこ、組体操などなど、今まで取り組んできた競技をご覧になった保護者の方々にとって、子ども達の運動会で『一生懸命に頑張っている姿』を見ることが、我が子の成長を感じる喜びの1つであったことは重々承知しております。ただ、前述したように私達が運動会で一番大事にしたい思いは、一人一人が“運動することを心から楽しい”と感じてもらうことです。そしてこの幼児期で運動を楽しむ経験が、今後の大人へと成長する過程の中で、やる気へと繋がる「原動力」となり、生きてくるはず！…と、信じて。

私達が時間を掛けて話し合った結果、今の子ども達が運動（スポーツ）で『一生懸命に頑張っている姿』は、幼児期での心から楽しむ経験をたくさん積み重ねた後でも良いのではないかと、という結論に至りました。この心から楽しむ経験がきっと幼児教育で大事にすべき視点だと信じ、保護者の方々と「運動を楽しむ内容にする」こと、そして「その環境を整えること」に全力を尽くしていきたいと思えます。

私達職員のこの熱い思いをご理解いただき、当日は保護者の方々も子ども達と一緒に夢中になって楽しむ運動会にさせていただくと共に、変更へのご理解とご協力をいただけたら幸いです。